

【施策評価調査】

施策名	6-2-1	男女共同参画計画の推進		130	家庭、職場、地域において男女の役割意識や、これまでの固定観念を見直し、男女間の差別や不平等のない社会を築き、地域等の課題解決に対して、男女が共同して参画するまちをつくり出す。 その実現に向け、町民の意識改革に向けた啓蒙、女性の社会参加機会の確保と意識の向上を推進します。
		高根沢町地域経営計画2006 該当ページ			
担当部課	教育部 生涯学習課	担当	社会教育担当		従来男女の役割に基づく意識や制度・慣行に縛られることなく、あらゆる分野における男女の参画機会を確保するとともに、リーダー育成などの人材育成に努め、地域での男女共同参画社会の実現を推進します。(「高根沢町地域経営計画2006」からの抜粋)
		リーダー	横塚恵子		
環境変化	特になし。				施策内容

指標

施策の評価指標	基準値	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
指標：男女共同参画リーダー育成講座参加者数(累計人数：人)	平成16年度 100人	計画	250人	400人	550人	700人	900人
		実績	45人	134人	133人		
指標：		計画					
		実績					
指標：		計画					
		実績					
指標：		計画					
		実績					
指標に関する特記事項							

施策に係る事業費(傘下事務事業費計)の推移	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
	当初	169,000	169,000	116,000		
決算	206,072	123,361	67,906			

専務事業事後評価 20年度の検証

施策傘下事務事業	事業費	活動量(アウトプット)	施策への貢献度	施策達成にどう貢献しましたか？(アウトカム)			
啓発活動事業費	当初 116,000	講座、説明会等参加者数	A	当事業は、町広報誌やみんなのつどいにおいて普及啓発活動を実施した。また男女共同参画セミナーでは、個々の自信といきいきと生活するための講習を受けたことで、お互いに助け合い、尊敬しあえる関係が築かれ、人間関係の改善にもつながってきたものと思う。町民に対する啓発は、広報誌や女性団体連絡協議会等で周知することが得策と考え、今後も普及啓発に努めていく。			
	決算 67,906	133人 / 400人		今後の方向性(自己評価)	継続	今後の方向性(総合評価)	継続
	当初						
	決算	人 /		今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	
	当初						
	決算	/		今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	

施策事後評価 20年度の検証

	施策達成状況に関する評価	課題と今後の方向性
自己評価	目標値に達成することはできなかったが、定期的に広報誌への情報提供や男女共同参画にむけたセミナーの開催により、女性がいきいきと輝いた毎日を送ることで、周りの方との人間関係もよくなることを学習できたことは事業を実施した成果であると思う。	当施策は、家庭や職場、地域が共通の認識をもって取り組んでまいります。そのためにも男女共同参画推進にむけた普及啓発活動を主に、県や関係団体等からの情報を得ながら、男女共同のあり方を考えていく。
総合評価	後期計画策定に向け、単発的に事業を行うのではなく、他の分野の施策などと抱き合わせにより、一層の成果をあげていくなど、手法を改善すること、生涯学習は自由な発想が可能な分野であるので、他課や関係機関、NPO団体等との連携を図った施策展開を検討すること。また、それに併せた施策指標も見直すこと。	